

平成30年度境港市介護保険運営協議会（第1回） 会議録

- 日 時：平成30年5月23日（水）午後1時40分～午後2時17分
- 場 所：境港市役所 第一会議室
- 日 程
 - 1 開会
 - 2 運営協議会の運営について
 - (1) 会長あいさつ
 - 3 報告事項
 - (1) 地域密着型サービス事業所の指定について
 - (2) 地域包括支援センターの運営状況について
 - 4 協議事項
 - (1) 介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス事業所の指定について
 - 5 その他
 - 6 閉 会

■ 出席者（敬称略）

（委 員）足田 京子、來間 美帆、稲賀 潔、遠藤 勲、高木 敏行、高松 武美、
山本 英輔

（事務局）

佐々木 真美子（福祉保健部長）、坂田 卓宏（長寿社会課長）

竹内 真理子（地域包括支援センター所長）

真木 由紀子（長寿社会課高齢者福祉係長）、井上 千恵（同介護保険係長）

（欠 席）伊東 征子、鷓鴣 一輔、渡邊はるみ

（傍聴者） なし

■ 会議録（要旨）

1 開会（坂田長寿社会課長）（13:40）

2 運営協議会の運営について

【事務局】 本日は伊東委員、鷓鴣委員、渡邊委員から欠席の連絡をいただいております、合計7名の出席となっているが、設置要綱第6条第2項の規定により委員の過半数の出席があるので、この会議が成立していることを報告する。

3 会長挨拶（高木運営協議会長）

4 報告事項

(1) 地域密着型サービス事業所の指定について

【会 長】 それでは、日程3の「報告事項」に入る。

報告事項(1)「地域密着型サービス事業所の指定について」を事務局から説明をお願いします。

【事務局】 地域密着型サービス事業者の新規指定について

デイハウスせいどうは、平成29年度の介護保険運営協議会で指定のご承

認をいただき、第6期介護保険事業計画に基づき整備された事業所である。

当初の予定どおり平成30年3月31日に事業を開始し、5月7日現在登録定員25人のうち16人の登録者があり、順調に事業を開始している。

2. 地域密着型サービス事業所の指定更新について

平成30年3月31日にグループホームひので、グループホームタ日ヶ丘、時の里の3事業所が指定の更新時期を迎えた。これらの事業所は、1・2ページの登録者の状況のとおり、高い利用率で事業を行っている。

また、各事業所から申請のあった書類を審査した結果適正であったため、平成30年4月1日から6年間の指定更新をした。

【会長】 ただ今、「(1)「地域密着型サービス事業所の指定について」の説明があったが、ご質問・ご意見等があれば、お願いします。

【委員】 (質問なし)

【会長】 引き続き報告事項②「地域包括支援センターの運営状況について」。

【事務局】 地域包括支援センターの運営状況について

(資料1ページ) 地域包括支援センター設置状況について

平成28年10月より、直営一本化となり、場所を市役所内に置き、2法人から表のような職種に出向して頂いている。

また、平成29年8月より、認知症地域支援推進員を配置し、14人体制で運営している。

(1) 相談・支援件数及び内容

地域包括支援センターへの総合相談の件数をあげている。

指定介護予防支援はケアマネジャーとしての関わりとなる。それぞれ実人数を平成28年度、29年度と比較している。いずれも、前年度比1割から2割弱、増加している。表1は、要支援1、2のケアプラン件数を月別に表している。平成29年度を見ると、3月には年度当初の4月より70件増加。

また、平成28年度と29年度を10月以降で比較しますと、表2のとおり、81件増えている。そのため、平成30年度には出向職員を1名増員している。

②相談支援内容は、総合相談としての内訳である。

(資料4ページ) (2) 運動機能向上事業

平成29年度は、健康寿命の延伸に向けた講話を取り入れながら、4公民館で、「いきいき百歳体操」を実施した。教室後は地域の中で自主サークルとして実施されており、フォローとして時々廻らせていただいている。「いきいき百歳体操」は、平成29年度末現在、23会場、約270人あまりの方々に実施されている。今年度も、残り3公民館で開催中であり、自主サークルも更に増えている。

(資料9～13ページ) (3) 認知症予防事業

認知症予防事業には、116回延べ2549人の参加を頂いている。これは、各地区で活動されている認知症予防サークルの後方支援、今年度は全サークルで、学習交流会も開催した。小学生への高齢者疑似体験や認知症サポータ

一養成講座及びサークルとの交流会などを実施している。

また、住民へ向けた、サポーター養成講座として毎年文化ホールで「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり市民大会」という講演会を行い、認知症、またその予防に関する知識の普及啓発を行っている。

(資料14ページ) (4) 口腔機能向上事業

これは、主に保健相談センターや各公民館での口腔機能の健診を取り入れた講演会、ふれあいの家や認知症予防サークルで行った健康教室である。

(資料18ページ) (5) 認知症初期集中支援推進事業

①認知症初期集中支援チーム員会議(平成29年度から実施)

認知症の早期診断、対応に向けた支援を検討、実施している。チーム員は包括支援センターの専門職と専門医として、済生会病院神経内科・栗木先生にご参加いただいている。今年度は10回、15件の検討を行った。

②認知症地域支援推進員による相談(平成29年度から実施)

ふれあいの家や教室などに出かけ、相談を受けている。

③おれんじカフェさかいみなと(平成29年度から実施)

5回の開催で92人が参加した。

(資料20ページ) (6) 健康教育事業

(資料21ページ) (7) 家族介護教室

「いきいき介護教室」として、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識や技術の取得を図ることを目的として、介護技術、介護保険制度の学習や介護食の調理実習を行った。

(資料22ページ) (8) 地域包括ケア事業

事業所研修会、ケアマネ対象のケアマネジメント研修会、ケアマネ事例検討会、多職種連携研修会、第1回地域ケア会議を開催した。

(資料23ページ) (9) 安否確認訪問の件数

【会長】ただ今、「(2)「地域包括支援センターの運営状況について」の説明があったが、ご質問・ご意見等があれば、お願いします。

【委員】(質問なし)

4 協議事項

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス事業所の指定について

【会長】協議事項(1)「介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス事業所の指定について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】「介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス事業所の指定について」

(資料1ページ) 通所型サービス事業所の指定

今回申請の事業所は、松江市にある「サン・フラワーデイサービスセンター」である。

この事業所は、平成30年3月31日まで総合事業のみなし指定を受けていたが、4月1日からの指定に伴う指定更新手続きを行わなかったため、3月31日で総合事業の指定が終了した。しかし、サービス利用が見込まれる

ため、今回指定申請を行ったもの。指定日は、6月1日を予定している。

人員基準については、資料にあるとおり（1）介護職員から（5）管理者まで基準を満たして配置されている。

設備については、食堂及び機能訓練室の面積も基準を満たしており、運営基準についても、利用者と締結する契約書、重要事項説明書にサービス計画の作成、サービス内容、事業所の運営体制等が記されており、基準を満たしていることを確認している。

なお、資料3ページに、これまでの事業所の指定状況を載せている。

【会 長】 ただ今、「介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス事業所の指定について」説明があったが、ご質問・ご意見等があれば、お願いします。

【委 員】 みなし指定を受けていたときの利用者はあるか。

【事務局】 1名いたが、事業所が便宜をはかり、継続利用している。

【会 長】 他に質問がなければ、協議事項（1）「介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス事業所の指定について」ご承認いただけるか。

【委 員】（承 認）

5 その他

【会 長】 日程5「その他」に移るが、事務局から何かあるか。

【事務局】 本日報告した、認知症初期集中支援推進チーム員会議についてである。

この会議を実施するうえで、集中支援チーム検討会と言う組織を設置しなければならない。この委員会は、チームがどのような目標をもって業務に取り組み、どのような成果を得たか、あるいはどのような課題が残っているかを明らかにしていくものであり、既存の委員会と兼ねても可となっている。

この委員会を介護保険運営協議会に置かせていただくことはいかがなものかを相談させて頂きたい。

【委 員】 認知症が疑われる人の情報は、どこから提供されるのか。

【事務局】 日常生活に支障を感じた家族やご近所、かかりつけ医などである。

【委 員】 独居だと発見が難しいのでは。

【事務局】 民生委員にも協力していただいている。

【委 員】 他の報告事項②で報告のあった事業は、包括支援センターが参加しているのか。

【事務局】 保健師が中心になり携わっている。

【委 員】 事業や回数が多く大変ではないか。

【事務局】 いろいろ検討しながら取り組んでいる。

【委 員】 ケアマネジャーの担当件数が月平均407件にもなっているが。

【事務局】 平成30年度から1名増員し対応している。

また、フレイル予防の取り組みを、公民館や住民主体で行えるようにしていきたい。

【委 員】 100歳体操も同様に、住民主体でひろげていくのは難しいが、一日も早くそのようになることを願う。

【委員】 公民館は地域の拠点となるべきであり、社会福祉協議会から公民館活動としてそのような活動に取り組めないか働きかけを行うとともに、協力できればと考えている。

【会長】 他に質問がなければ、「認知症地域支援推進員会議」を「介護保険運営協議会」を兼ねることをご承認いただけるか。

【委員】(承認)

【会長】 それでは全ての日程が終了したので、これで本日の会は閉会とする。

14:17終了